

「食育の目標」(案)

1 食を通じて健康な体をつくるための目標(現行)

項 目	基準年	H21	状況	目標(H22)
○朝食の欠食割合				
小学生(2学年及び5学年)	2.9%(H18)	1.9(1.2)	△	0%
中学生(2学年)	6.1%(H18)	5.0(3.6)	△	3%以下
高校生(全日制1~3学年と定時制1~4学年)	8.6%(H18)	8.5	×	5%以下
男性20歳代	11.6%(H16)	11.8	×	10%以下
男性30歳代	15.2%(H16)	14.8	△	10%以下
○肥満者の割合	※全国平均値			
小学校2年生	※5.5%(H17)	4.0	○	5%以下
小学校5年生	※9.5%(H17)	7.7	○	8.5%以下
中学校2年生	※9.3%(H17)	8.7	△	8.3%以下
20~60歳代男性	24.2%(H16)	25.9	×	15%以下
40~60歳代女性	15.3%(H16)	14.0	△	12%以下
○自分の適正体重を維持することのできる食事を理解している人の割合				
男性	59.7%(H16)	59.2	×	80%以上
女性	64.1%(H16)	63.4	×	80%以上
○健康な歯を持つ人の割合				
3歳(乳歯)ですべての歯が健康な人	78.7%(H16)	84.4	△	90%以上
小学校3年生(永久歯)ですべての歯が健康な人	80.6%(H17)	86.5	△	90%以上
80歳で20本以上自分の歯を持つ人	37.4%(H17)	47.4	○	40%以上

1-1 食を通じて健康な体をつくるための目標(新計画)

(変更点はゴシック)

項 目	基準年	目標(H27)	変更等の内容
○朝食の欠食割合			
小学生(5学年)	2.4%(H22)	0%	小学生は国と整合
中学生(2学年)	5.0%(H22)	3%以下	欠食の多い男子大学生を追加(重複する20歳代男性は削除) 委員意見
高校生(全日制2学年)	8.1%(H22)	5%以下	
男子大学生	26%(H21)	15%以下	
30歳代男性	14.8%(H21)	10%以下	
○朝食に野菜を食べている小中学生の割合			
小学生(5学年)	60.9%(H22)	80%以上	欠食改善傾向の小中学生は内容にも言及 委員意見
中学生(2学年)	47.0%(H22)	80%以上	
○肥満・やせの割合			
肥満:小学生(5学年)	8.6%(H22)	6%以下	児童生徒は一層の推進
肥満:中学生(2学年)	8.1%(H22)	7%以下	高校を追加
肥満:高校生(2学年)	9.7%(H22)	8%以下	成人男性は絞りこみ
肥満:40~60歳代男性	27.7%(H21)	15%以下	女性の痩身問題に対応
やせ:20歳代女性	28.2%(H21)	14%以下	
○自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践している人の割合			
男性	43.7%(H21)	60%以上	意識変容から同内容の行動変容に変更 委員意見
女性	53.2%(H21)	70%以上	
○健康な歯を持つ人の割合			
むし歯のない3歳児	84.4%(H21)	90%以上	幼児は表現のみ変更
第一大臼歯がむし歯でない小学3年生	85.7%(H21)	90%以上	児童は県健康計画と整合
40歳で進行した歯周炎の減少	28.0%(H21)	10%以下	壮年期の指標に変更

2 食を通じて豊かな心を育むための目標(現行)

項 目	基準年	H21	状況	目標(H22)
○家族等と一緒に楽しく食事をする人の割合(1日最低1食、家族や友人と一緒に楽しく30分以上かけてとる人の割合)	62.3%(H16)	60.2	×	80%以上
○農林漁業体験学習の取組を実施している市町村の割合(2種類以上2日以上体験学習を実施している市町村の割合)	38.1%(H18)	63.3	△	80%以上
○学校給食における地場産物を使用する割合(全食品数に占める県産食品数の割合)	27.7%(H17)	37.0	○	35%以上

1-2 食を通じて豊かな心を育むための目標(新計画)

項 目	基準年	目標(H27)	変更等の内容
○家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の割合(1日最低1食、家族や友人と一緒に楽しく30分以上かけて食事をする人の割合)	60.2%(H21)	80%以上	基本は変更なし(友人を明記)
○農林水産業に親しむ県民の割合			
農林漁業体験に取り組む小学校の割合(名古屋市を除く)	62.8%(H22)	80%以上	子どもと大人の両者に対応 委員意見
農林水産業に親しむ活動に参加する県民の割合	43.7%(H22)	60%以上	
○学校給食において地域の産物を活用する割合(全食品数に占める県産食品数の割合)	37.0%(H21)	45%以上	一層の推進

3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くための目標(現行)

項 目	基準年	H21	状況	目標(H22)
○むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合	35.5%(H18)	40.2	△	50%以上
○県内産の食材を積極的に扱う「いいともあいち推進店」の登録数	336店(H17)	694	○	500店以上
○環境に配慮して農業生産活動を実施する「エコファーマー」の認定者数	2,200人(H16)	4,174	○	3,500人以上

1-3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くための目標(新計画)

項 目	基準年	目標(H27)	変更等の内容
○むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合	40.2%(H21)	50%以上	変更なし(未達成)
○県産農水産物を優先して購入したいと思う県民の割合(米、野菜、果物、肉、卵、魚の購入意向の平均)	18.0%(H21)	30%以上	地産地消の県民意向の確認
○環境や安全等に配慮して農業生産工程を管理するGAP手法の導入組織・法人数	75件(H22)	120件以上	生産工程管理の推進に焦点

4 食育を広めるための目標(現行)

項 目	基準年	H21	状況	目標(H22)
○食育に関心を持っている県民の割合	64.8%(H17)	93.3	○	90%以上
○「愛知県食育推進ボランティア」の登録数	388人(H17)	534	○	500人以上
○食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	0%(H18)	64.9	△	80%以上

2 食育を支えるための目標(新計画)

項 目	基準年	目標(H27)	変更等の内容
○食育推進ボランティアから食育を学んだ人数	5.5万人(H21)	10万人	活動の実践に焦点
○食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	64.9%(H21)	100%	全市町村を目標 委員意見
○「いいともあいち運動」を知っている人の割合	36.0%(H21)	50%以上	県民認知度の確認

(状況 … ○:達成、△:改善、×:改善見られず)